



ウエルハーネスだより



230号

理事長からのことば

雨で肌寒い日が続いたかと思うと一転して猛暑の日々です。暑い夏になりそうです。高校野球の予選が始まりました。高野連も日中の試合を避けるとか、途中の休憩時間を設けるなどの対策を考えているようですが、そろそろ真夏の甲子園での開催は考える時が来たのではと思います。

選手はベンチやロッカールームで涼むことができますが、心配なのは応援団の人たちです。今年の春、浦和実業の初戦の応援に行きました。私は自分でチケットを取ったので、応援席には入りませんでしたが、東京駅からの新幹線、阪神電車とずっと浦和実業の生徒と一緒にでした。集団行動ですので、結構駅での待機時間がありました。甲子園球場に着くと私はすぐに入場したのですが、生徒や応援席に入る人は入場ゲートで待機です。前の試合が延長戦になったので、入場できずに2時間近く待ったようです。春とは言え暑い日でした。これが夏の大会だったらと思うとぞっとしました。選手や応援団の人たちの安全を考えて、ドーム球場でやるなどの根本的な対策を考える時が来たのではないでしょうか。

さて、この原稿は7月18日書いていますので、参議院議員選挙の終盤です。与党の過半数維持が難しいとの予想が立っています。皆さん、この文章を読む頃にはすでに結果が出ています。どうなっているのでしょうか。それはさておき、気になることを述べたいと思います。

いつのまにか争点が「外国人問題」になっているような気がします。あれほど騒がれた「議員のお金」の問題はどこに行ってしまったのでしょうか?何だか候補者同士の誹謗中傷に使われるだけになってしまったように思われます。その「外国人問題」も大声で叫ぶ人たちの声だけが聞こえてきます。全般的に大声で対立候補や対立政党を誹謗中傷するという風潮を感じます。また、その様子をSNSに載せて、お金を稼いでいるような人もいます。静かに熱く政策論争を繰り広げる選挙本来の姿から遠く離れているのではと思います。

物価対策も消費減税か給付かの問題にすり替わっているのではと思います。消費税をなくせば、薬価をはじめ社会保障に甚大な影響が及ぶと与党が訴えると、野党は影響はない、財源はあると主張します。両者の言い分はそれぞれ正しいように聞こえますが、根拠をというとどちらもあいまいな物言いに変わります。

減税、給付、どちらもバラマキに見えます。そしてどちらも物価対策の決め手ではないと思います。必要なのは、使い方の議論ではないかと思います。無駄をなくし必要な所に使うということをもっと議論してほしいと思います。

今まで、選挙のたびに社会保障関連の話題が争点になっていましたが、今回は全く聞きません。やっと最近、訪問介護の危機的状況を伝えるようになってきました。令和9年の介護報酬改定を待っていては、まっとうな訪問介護事業者は死滅してしまう恐れがあります。さらに医療・介護業界は公定価格で収入が決まっています。どの政党も訴える賃金改善はできません。物価上昇も相まって、多くの病院、施設の経営が行き詰まりつつあります。減税・給付する分を社会保障関連に回してもらいたいと思います。

いずれにしても大きな声での誹謗中傷、財政根拠のない政策、というより明らかにお金の扱いに疎いのでは思われる人たち、こういったことには冷静に対処して判断できる国民であると信じていてくださいと思います。

7～8月の行事



デイサービスでは七夕のレクリエーションや制作がおこなわれました。また、バンド演奏やマリンバ演奏のボランティア様にもお越しいただきました。

特養では、七夕のレクリエーションやお誕生日会等のレクリエーションがおこなわれました。

8～9月の予定



デイサービスでは、7/8.9でサマーパーティーをおこなう予定となっております。また、かき氷作りや制作等の様々なレクリエーションを企画しております。

特養では、お誕生日会等のレクリエーションを企画しております。



★介護保険負担割合限度額認定証（紫）※対象の方のみ

7/31までに更新申請をお願いいたします。

☆【特養・ショート・デイ】介護保険負担割合証

☆【特養】後期高齢者医療保険資格確認証

☆【特養・ショート】介護保険負担割合限度額認定証（紫）※対象の方のみ

上記書類がお手元に届きましたらお手数ですが施設までご郵送かご持参くださいますようお願いいたします。

こなはたこ

